

写真家 廣池 昌弘



【プロフィール】

1962 年生まれ。鳥取県立米子東高校、広島大学工学部卒、鳥取県南部町在住。
写真家・システムエンジニア（旧通産省認定 特種情報処理技術者、第一種情報処理技術者）
1985年 キャタピラー三菱株式会社入社
1992年 土木関連のシステム開発を行う会社を設立して独立
1999年 全国的ホームページコンテストで2位受賞。WEB システム開発を事業として始める
2005年 FLASH技術による写真表示プログラム等を開発すると同時に写真を本格的に始める
WEB : www.masahirohiroike.com

【受賞歴】

2015年 オリンパス・オープンフォトコンテスト グランプリ
2017年 National Geographic Best of August 2017 (約15万枚中の10枚)
2020年 Sony World Photography Awards Professional "Natural World and Wildlife" 第2位
2020年 5th 35AWARDS "Motion" 第3位、 "Night Landscape" TOP100
2020年 IPA (International Photo Awards) Professional Nature-Astrography 第2位
2020年 6TH Fine Art Photography Awards (London) NOMINEE x 3
2021年 TIFA(Tokyo International Foto Awards) Silver x 1, Bronze x 2
2021年 BNW Minimalist Photography Prize 2020 BEST 50 Photographers
2022年 Trieste Photo Days(Italy) Mythography - Vol. II 1photo & 1series 展示+出版
2022年 Nature Conservancy's 2022 Global Photo Contest Wildlife Honorable Mention
2023年 LensCulture Critics' Choice 2023 winner (Christie's 写真責任者 Darius Himes氏選出)

【出版】

2019年12月 写真集「QUEST/探求 第1集」を今井出版より出版
2020年 7月 写真集「HIMEBOTARU」をちいさな今井より出版

【展示会】

2021年 3月 個展 鳥取県米子市美術館（鳥取県文化振興補助金）
2021年 4～6月 企画展 鳥取県南部町裕生出合いの館
2021年 6～7月 企画展 鳥取県日南町美術館
2022年 4月 個展 東京、ピクトリコ・ショップアンドギャラリー
2024年 5～7月 ポーランド、イエレニャグラ市市営博物館 企画展
2024年 5～8月 ポーランド、西シレジア写真家協会ギャラリー 企画展

【その他】

2022年 7th 35AWARDS 審査員（50ヶ国各一人の審査員に選出）
2022年 7月～ 中海テレビ放送、月1回の番組「山陰グラフィック」出演
2022年 ベルギーのデジタルアートフレーム IONNYK (www.ionnyk.com) に作品提供

Sony World Photography Awards 2020

【ソニーワールドフォトグラフィーアワード】

- ・ World Photography Organisation（世界写真機構）が主催し、SONYの協賛で行われる現在世界で最も権威があるとされるフォトコンテスト、2020年で開催13回目
- ・ プロフェッショナル、一般、ユース、学生の4部門で構成され、プロフェッショナル部門に建築、ドキュメンタリー、風景、自然／野生生物等10種のカテゴリーがある

World Photography Organisation : <https://www.worldphoto.org/>

日本プレスリリース : <https://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/Press/202006/20-047/>

【受賞概要】

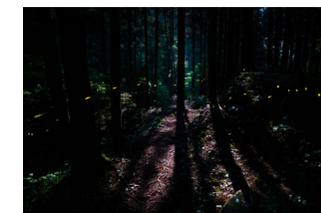
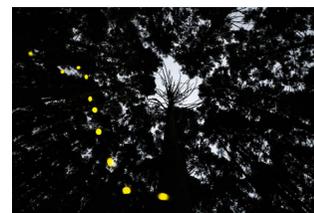
- ・ プロフェッショナル部門、自然・野生生物カテゴリーで第2位
- ・ プロフェッショナル部門全体の応募総数は約13万5千
- ・ ロンドンでの授賞式、世界各国での展示会が新型コロナウイルスの影響で中止
- ・ 2020年6月12日～7月9日 ソニーイメージングギャラリー銀座で受賞作品展開催

※ 受賞作の1枚がSWPAのサイト全体で1年間バナー画像として使用された

【応募作品】

「ヒメボタル」(9枚組写真)

- ・ 2019年、鳥取県南部町、日南町、江府町で撮影
- ・ 8年前からホタルの生息地を研究しており、全て独自に調査した生息地で撮影
- ・ 受賞作品 : <https://bit.ly/39BTzvp>



5HT 35AWARDS

【35AWARDS】

- ・ 2015年から開催されている応募数が世界最大の国際写真コンテスト
- ・ 2020年度参加者は173ヶ国、117,500人、応募写真総数418,800点
- ・ 順位は参加者（応募者と閲覧者）と審査員（前年度入賞者）の投票によって決まる
- ・ 2020年度は22のカテゴリー

【受賞概要】

- ・ [MOTION]カテゴリー「Departure」 が第3位
- ・ [Landscape - night]カテゴリー「HIMEBOTARU」 がTOP100
- ・ 「Departure」「HIMEBOTARU」が受賞作品集に掲載

結果ページ：<https://35awards.com/winners2019/result/>

廣池の結果：<https://35awards.com/author/hiroike/>

速報動画：https://www.youtube.com/watch?v=940pYte_F0s



[Departure] MOTION 3位



[HIMEBOTARU] Landscape – night TOP100

2020 IPA (International Photography Awards)

IPAは写真界のアカデミー賞とも言われるUSAが拠点で行われる国際写真コンテスト
プロとノンプロにそれぞれ13のグループ、95のカテゴリーがある

【受賞概要】

「Tateyama Milkyway」"Professional Nature-Astrography"で第2位
組み写真の4作品がHonorable Mentionを受賞

Tateyama Milkyway : Nature-Astrography 2位

HIMEBOTARU : Nature-Seasons Honorable Mention

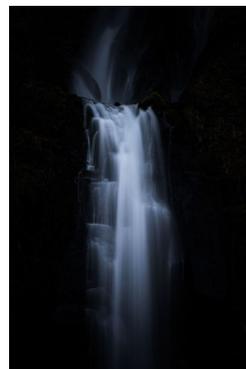
Emotions : Fine Art-Abstract Honorable Mention

Portraits of Water : Fine Art-Landscape Honorable Mention

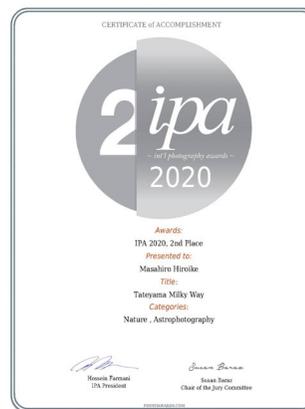
Japanese Nightscapes : Special-Night Photography Honorable Mention

<https://www.photoawards.com/winner/index.php?compName=IPA%202020&level=pro>

<https://www.photoawards.com/winner/hmention.php?compName=IPA%202020&level=pro>



[Portraits of Water]



[Tateyama Milkyway]



[Emotions]



[HIMEBOTARU]



[Japanese Nightscapes]

2020 TIFA (Tokyo International Foto Awards)

TIFAは東京を拠点に行われる国際写真コンテスト
プロとノンプロにそれぞれ10のグループ・46のカテゴリーがある (2020年)

【受賞概要】

プロフェッショナル「Nature-Panoramic」で立山の天の川が「Silver」を受賞
プロフェッショナル「Fine Art-Landscape」で「Sand Dune」が「Bronze」を受賞
ポートフォリオに応募した20枚の組写真「Quest of Beauty」が「Bronze」を受賞

Milkyway : Nature-Panoramic (自然-パノラマ) Silver
Sand Dune : Fine Art-Landscape (芸術-風景) Bronze
Quest of Beauty : Portfolio-Personal (作品集) Bronze
Himebotaru : Nature-Seasons (自然-季節) Honorable Mention

<https://www.tokyofotoawards.jp/winners/tokyo/2020>

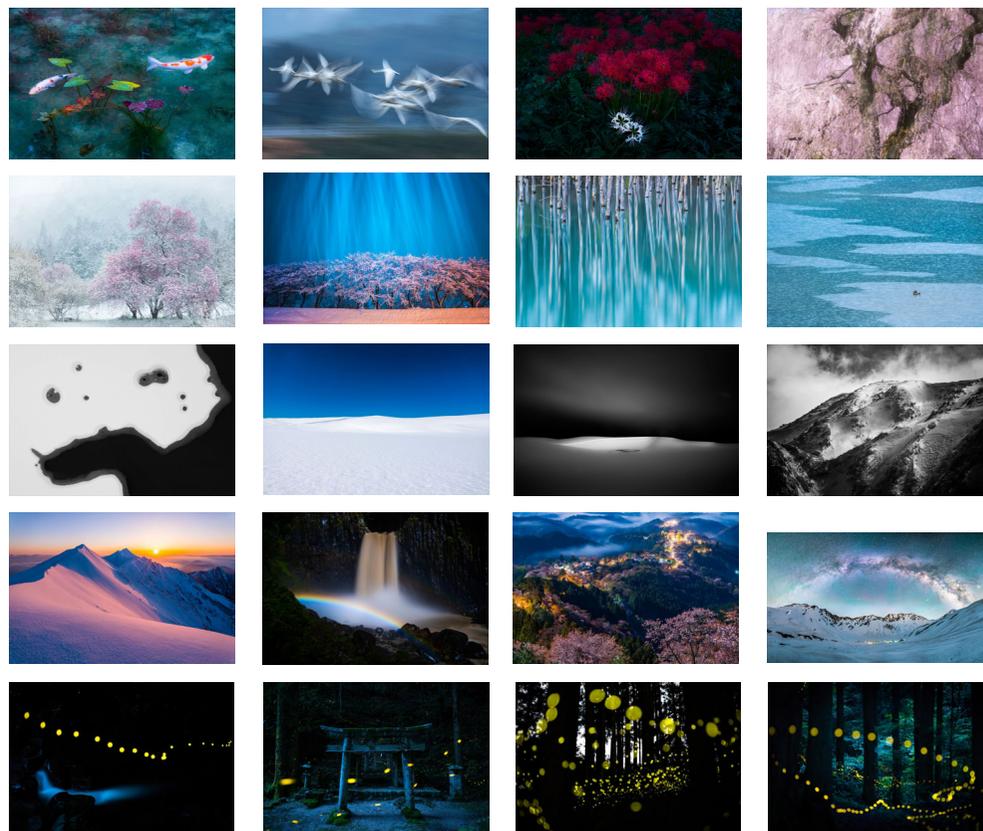


[Tateyama Milkyway] Professional Nature-Panoramic Silver

[Sand dune]



[Quest of beauty]



Mythography - Vol. II

イタリア、トリエステで行われる写真関連イベント「Trieste Photo Days」で公募があり、数点の単写真と2つのシリーズ作品を応募。1作品と1シリーズが受賞し、8枚の写真が展示・出版された。



IONNYK

ベルギーの企業が開発した紙のように見えるというモノクロのデジタルアートフレーム
IONNYK の作家として、2022年よりモノクロ作品を提供している。

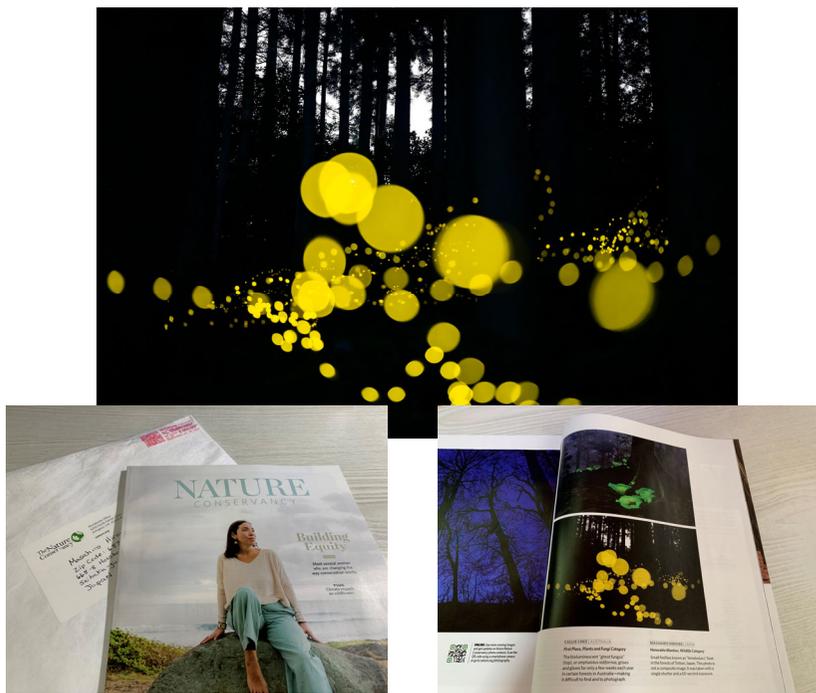
IONNYK : www.ionnyk.com



Nature Conservancy's 2022 Global Photo Contest

The Nature Conservancy (TNC) は、100 万人を超えるメンバーと 400 人を超える科学者を擁する世界的な非営利環境団体。2022年度のコンテストは196の国と地域から10万件以上の応募があり、WildlifeカテゴリーでHonorable Mentionを受賞した。また、2023年8月の会報誌には14枚が選ばれて掲載された。

<https://www.nature.org/.../photo-contest/2022-winners/>



LensCulture Critics' Choice 2023

“LensCulture”はオランダのアムステルダムを拠点とする世界的に権威のある現代写真のネットワーク。“Critics' Choice”は20人の審査員がそれぞれ3作品を選ぶコンテストで、私の作品は“HIMEBOTARU”がオークションハウス“Christie's”の写真国際責任者であるDarius Himes氏に選出された。



写真展・写真作品の制作

【写真展】

2021年には鳥取県の補助を頂いて米子市美術館で個展開催、南部町裕生出会の館と日南町美術館では企画展を開催して頂き、2023年にはポーランド・西シレジア写真家協会の招待で、イエレニャグラ市市営博物館と同写真家協会のギャラリーで企画展を開催頂いた

2021年 3月 個展 鳥取県米子市美術館（鳥取県文化芸術活動支援補助金）

展示作品数：900x600mmx42枚、1500x1000mmx11枚、3000x2000mmx1枚

2021年 4～6月 企画展 鳥取県南部町裕生出会の館

展示作品数：900x600mmx32枚、1500x1000mmx13枚

2021年 6～7月 企画展 鳥取県日南町美術館

展示作品数：900x600mmx47枚、1500x1000mmx23枚

【写真作品の制作】

写真は自宅工房のB0対応大型プリンターで写真用ロール紙に印刷し、コールドラミネーターによるアルポリック加工、オリジナルのアルミ製の額も制作

プリンター：CANON pro-4100（12色 幅1118mmロール紙対応）

ラミネーター：GCL1600（コールドラミネーター 1600mm幅）



[CANON pro-4100]



[自宅写真工房]



[鳥取県米子市美術館 写真展「Quest」]



[日南町美術館 企画展]



[プリント・アルポリック加工・額装]



[ポーランド イエレニャグラ市営博物館企画展]